



6月1日から7日は HIV 検査普及週間 不安な方は検査を!

令和6年5月29日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第21週分・5月20日～5月26日)

《インフォメーション》

●HIV 検査普及週間

エイズ(後天性免疫不全症候群)は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染によって免疫不全が生じ、日和見感染や悪性腫瘍が合併した状態をいいます。厚生労働省エイズ動向委員会によると、2023年に報告されたHIV感染者(HIVに感染しているが、エイズを発症していない方)およびエイズ患者はそれぞれ669人、291人で(速報値、上図)、昨年よりも若干増加しました。

富山県における過去10年間の年間の新規報告数は1～10人で推移しています(下図)。

エイズの原因であるHIVは、人の免疫の中心であるヘルパーTリンパ球やマクロファージに感染します。HIVに感染すると数週間以内にインフルエンザに似た症状が出る場合がありますが、多くの場合は自然に軽快します。HIV感染後、自覚症状のない時期が数年続き、さらに進行すると免疫が低下し、日和見感染症などを発症するようになります。抵抗力が落ちることで発症する疾患のうち、代表的な23の指標となる疾患が決められており、これらを発症した時点でエイズ発症と診断されます。

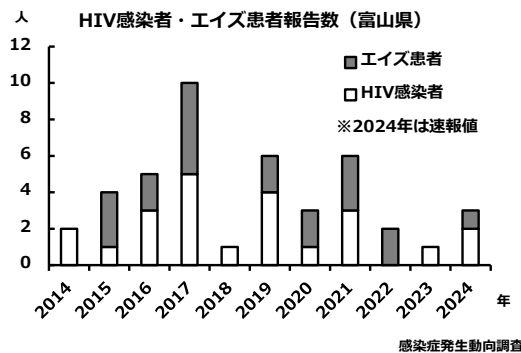
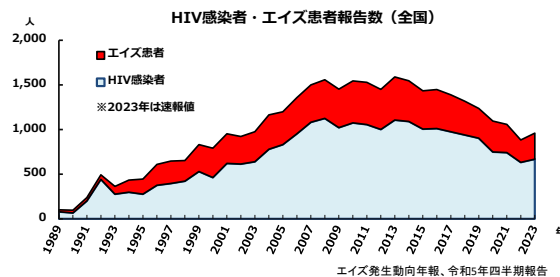
厚生労働省は6月1日～7日を「HIV検査普及週間」と定め、HIV検査の普及を図っています。この期間、中部厚生センター、砺波厚生センター、富山市保健所では通常の検査体制に加え、平日夜間の検査を(富山市保健所においては休日検査も)実施しています。HIV感染症は適切な治療によりエイズの発症を抑えることができるため、HIV感染を早期に発見することが重要です。HIVに感染した不安のある方はこの機会にHIV検査を受けることをお勧めします。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①第20週診断分:80歳代、女性 ②70歳代、男性 ③70歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (70歳代、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①第20週診断分:60歳代、女性、G群 ②80歳代、女性、G群)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	8.62(↓)	8.83
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.17(↓)	5.83
3位	COVID-19	3.29(↑)	3.19
4位	RSウイルス感染症	2.10(↑)	2.07
5位	咽頭結膜熱	1.21(↓)	1.72
6位	マイコプラズマ肺炎	0.60(↑)	0.20



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第21週 令和6年5月20日～令和6年5月26日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		1	2	6	2	17	3	22	50	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							3	2	8	2	12	27	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1	3	5		
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		レジオネラ症					1	1		1	7	1	11	20	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			2		7	9	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1		2	1	8	12	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
		水痘（入院例）							1	1				2	
梅毒										2	2	4	8		
播種性クリプトコックス症											1	1			
百日咳											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ		1	15		4	20	1,066	1,028	4,030	1,561	5,061	12,746	
		COVID-19	39	13	44	26	36	158	1,157	706	2,148	1,159	1,923	7,093	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	5	7	20	1	28	61	18	45	101	21	151	336	
		咽頭結膜熱	1	8	15	2	9	35	62	192	542	30	524	1,350	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	4	81	22	36	150	141	143	2,051	245	860	3,440	
		感染性胃腸炎	25	22	47	17	139	250	516	527	1,153	624	2,617	5,437	
		水痘		1	12		1	14	1	11	56	8	39	115	
		手足口病		10	3		3	16	7	21	26	1	18	73	
		伝染性紅斑									6	1		7	
		突発性発しん			4	1	2	7	4	9	55	14	41	123	
		ヘルパンギーナ	1			1		2	49			2	1	52	
		流行性耳下腺炎	0.25			0.25		0.07							
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
			流行性角結膜炎			2			2	8	1	23	5	9	46
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎			3			3			4	1		5
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）			3.00			0.60				1		1
		入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179
		COVID-19による入院患者	8	3	2	4	23	40	92	96	62	112	295	657	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。